

## 学校再配置計画「教育都市かさいをめざして」（素案）に対する意見募集

この度、学校再配置プロジェクトチーム（委員長／東郷昭副市長）が、市内小中学校の再配置計画の素案を策定しました。副市長、教育長以下、経営戦略室や教育委員会事務局、財務部など市役所内の関係部署のメンバーが庁内横断的に参加し、昨年12月から今年6月まで、合計23回の検討会議や先進事例の視察などを重ね、取りまとめたものです。

今後、この再配置計画（素案）について、市民の皆さんからご意見をいただくとともに、有識者委員会を立ち上げ、その答申を経て、向こう一年以内に学校再配置に関する最終案を取りまとめる予定です。多くの皆様のご意見をお待ちしています。

募集期間／8月31日（火）まで

資料閲覧／経営戦略室（市役所3階※土日祝除く）、各公民館、地域交流センター、市内小中学校、市ホームページ

提出方法／所定の意見提出用紙に必要事項を記入のうえ、Eメール、FAX、郵送で下記まで送付してください。

### ■学校再配置計画「教育都市かさいをめざして」（素案）の概要

#### ■施策① 市立11小学校を5校に再配置（少子化に起因する問題の解決）

児童数の減少とともに大半の小学校が学年単学級になることが予想されるため、中学校区を単位とする5校体制にする。北条東小は複数学級が継続するため、当分の間、変更しない。概ね10年で完了するのが財政的にベスト。

- 資料① 小学校児童数の予測推移 30年間で51%の減少【平成20年（2,735人）→平成50年（1,340人）】
- 資料② 小学校単学級数の予測推移 30年間で1.74倍【平成20年（35単学級）→平成50年（61単学級）】

#### ■施策② 隣接型小中一貫教育を実施（財政に起因する問題の解決）

小学校1年生から中学校3年生までの義務教育9年間連続した学校づくりを実施。現在ある中学校の隣接地に新たな小学校を建設。

#### ■施策③ 快適な教育環境の実現とソフト教育費の大幅な拡充（新たな教育の取組）

再配置による経済効果を財源として、教育ソフト費の拡充、安全安心の確保、中学校給食の全校実施などに充当。5校再配置時に各校に一般財源で年間約4,000万円を追加投入（ソフト教育費の拡充、小中一貫教育費を含む）。

- 資料① 今から15年以内に小学校の73%の施設で改修が必要。
- 資料② 近隣5市で小学生1,000人あたりの施設数は加西市が最多の4.1（平均3.3）
- 資料③ 5校に再配置することで、今後30年間で建設事業費と維持管理費を約23億円削減可能。

北条小+富田小
北条東小（現状維持）
賀茂小+下里小
九会小+富合小
日吉小+宇仁小+西在田小+泉小

【意見提出先】 〒675-2395（住所表記不要）経営戦略室 ☎48700 FAX④1800 keiei@city.kasai.lg.jp

## 住民投票条例に関する講演会を開催します

住民投票とは、将来にわたって市民の生活に重大な影響を及ぼす政策課題について、その是非を住民の皆様へ直接問うものであり、市ではこれまでもジャーナリストの今井一氏を招いて講演会や勉強会を開催してきました。昨年の9月議会で住民投票条例案は否決されましたが、市民主体のまちづくりや市民自治の観点からは必要不可欠な条例と考えます。現在、次回9月議会に再度上程するべく準備中です。

市民の皆様にも住民投票の仕組みや必要性について理解を深めていただくため、下記のとおり講演会を開催します。

日時・場所／8月10日（火）18:00～19:30、地域交流センター多目的ホール（アステシアかさい3階）

講師／富野暉一郎さん（龍谷大学法学部教授）。昭和59年逗子市長に就任。3期8年の市長経験を生かし、現在龍谷大学にて行政学者として活躍中。

### ■住民投票条例案に対する意見募集

市民の皆様から住民投票制度について広く意見をいただき、更なる内容の充実を図るため、次の通り住民投票条例（案）に対するご意見を募集します。

募集期間／8月13日（金）まで

資料閲覧／総務部行政課（市役所3階※土日祝除く）、各公民館、地域交流センター、市ホームページに掲載

提出方法／住所、氏名、意見をご記入のうえ、Eメール、FAX、郵送で下記まで送付ください。

【意見提出先】 〒675-2395（住所表記不要）行政課 ☎48702 FAX④1800 somu@city.kasai.lg.jp

## 6月議会を振り返って

議員名	議案 オークタウン 指定管理案	男女共同参画 助成金予算案	教育委員任命案 （竹本武志氏）	監査委員選任案 （桜井光男氏）
井上智章	○	×	○	○
別府直	○	○	○	○
丸岡弘満	○	×	○	○
小谷安富	○	○	○	○
繁田基	×	×	×	×
土本昌幸	×	×	×	×
森元清蔵	議長	議長	議長	議長
黒田秀一	×	×	×	×
吉田稔	×	×	×	×
高橋佐代子	×	×	×	×
森田博美	×	×	×	×
井上芳弘	○	×	○	○
西川正一	○	○	○	○
山下光昭	○	○	○	○
三宅利弘	○	×	○	○
桜井光男	○	○	○	本人案件につき退席
高見忍	×	×	×	×
後藤千明	×	×	×	×
採決結果	可決 (賛成9、反対8)	削除 (賛成5、反対12)	同意 (賛成9、反対8)	同意※ (賛成8、反対8)

議席順で敬称略。○は賛成、×は反対を表しています。

※可否同数で議長裁決により同意

男女共同参画社会基本法が施行されて以降、過去10年間で加西市は男女共同参画のために総額約2億円、一年当たり約2,000万円を費やしてきましたが、殆んど成果は上がらなかったに等しいと思っています。その現状を打破するべく、僅か150万円の新しい試みをしようとする執行者の考えや、助成金制度を期待してきた地域住民や女性団体の思いまで、議会が否定されたとは私は受け止めています。

議会基本条例が制定され、議会改革も漸く緒についた訳ですが、未だ積み残しとなっている議員定数の問題、正副議長と監査委員の選任方法や任期等についても、早期に議会基本条例の中に明文化され、不透明で市民から解りにくい市議会運営の慣例も早く改められることを期待しています。（市長）

## 市役所業務の包括民間委託に向けて

加西市は、市役所業務（病院・消防を除く）の民間委託について、過去3年間研究してきました。まずは、現在の臨時職員が担っている業務から順次アウトソーシングすることを計画しています。包括委託とすることで、市役所としては、地方公務員法の不適正な運用を是正することができ、半年毎の契約更新など市役所の内部管理業務も効率化できます。一方、働く者の立場からは、長期安定雇用が図られ、能力を發揮しやすい労働環境づくりが出来ます。他方、一般市民からすると、行政サービスの質向上、効率化による市民負担の軽減、市民満足度の向上になります。長期的にはアウトソーシングの領域を拡大していくことで、相当なコスト削減になり、浮いた予算を教育、子育て、環境、福祉などの分野に振り向けることができますし、税金を安くすることも不可能ではありません。詳細は、市ホームページに掲載しています。

今後、関心のある民間事業者との協議（競争的対話）を重ね、9月ごろに募集要項を発表して公募プロポーザルを行い、議会の承認を得たうえで実施する予定です。

【問合せ先】 経営戦略室 ☎48700 FAX④1800 keiei@city.kasai.lg.jp

### ■加西市開発調整条例案に対する意見募集

加西市開発調整条例を9月議会に修正・再提案する予定です。資料を閲覧のうえ、皆様のご意見をお寄せください。

募集期間／7月20日（火）から8月10日（火）まで

資料閲覧／都市計画課（市役所5階※土日祝除く）、各公民館、地域交流センター、市ホームページに掲載

提出方法／住所、氏名、意見をご記入のうえ、Eメール、FAX、郵送で下記まで送付ください。様式は自由。

意見提出先／〒675-2395（住所表記不要）都市計画課 ☎48753 FAX④1998 toshi@city.kasai.lg.jp